

24精米工(技)第8号

2024年4月4日

関係各位

一般社団法人日本精米工業会

【公印省略】

第108回『精米検査研修会』（初級）及び

第39回『米穀検査技術研修会』（中級）の開催について

拝啓 陽春の候、貴社（組合）ますますご清栄のことと拝察いたします。

さて、本会が実施している「人を育てられる人を育成する」をテーマとした教育事業「精米工場管理者ライセンス制度」はスタートより20年以上が経過し、内容を充実した教育体系となるよう改善・改良をしながら、多くの企業の皆様にご活用いただいているところです。

会員以外の米穀販売会社（精米工場）も、米穀業界の基礎的知識である、玄米・精米の見方や実際の分析方法等について学習する標記研修会への関心は高いものがあり、近年は米穀販売会社（精米工場）のみならず、精米を原材料として扱う炊飯関連企業からも、大変多くのお問い合わせをいただいています。

そこで、玄米・精米の見方や評価のもととなる標記研修会について、参加人員を限定し申し受けることと致しましたので、ご案内申し上げます（会員は会員価格）。

ご不明の点等がございましたら、本会技術部・担当者までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

敬具

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町15-15 食糧会館7階

一般社団法人日本精米工業会

TEL : 03-4334-2190 FAX : 03-3249-1835

担当：技術部 升 拓 郎 (masu@jrma.or.jp)

松 本 治 (matsumoto@jrma.or.jp)

第108回『精米検査研修会』

検査技術コース
(初級)

1. 日 程

2024年7月8日(月) 13:00より(受付は11:30より)
10日(水) 12:00まで(2泊3日)

2. 会 場

湘南国際村センター
〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-39
TEL: 046-855-1800

3. 対 象 者

新入社員の方、社内異動により初めてお米を扱う人、営業部門の人等
初心者を対象としています。

4. 内 容

精米の品質及び検査・評価に関する基本的な理論・方法等について、
実習を交えて学習し、習得します。

※表1参照

5. 定 員

10名 1企業の出席者数の制限は行いませんが、参加希望者が定員
を越える場合はご相談させていただきます。

6. 申込方法

別紙①によりFAXにてお申込み下さい。

7. 受 講 費

1名につき、140,800円(税込)
内訳: 研修費 107,800円
宿泊費等 33,000円(宿泊2泊、食事7回含む)
(1) 申込書の受理後、研修会受講費請求書を送付いたしますので、
振り込みにより納入して下さい。
(2) 会場までの交通費は受講者のご負担となります。

8. 締 切

定員に達した場合、または、2024年6月28日(金)まで

9. そ の 他

最後の修了試験に合格した方には「修了証書」をお渡しします。

表1 第108回『精米検査研修会』日程及び研修項目（予定）

月 日	時 間	研修項目
7月8日 (月)	13:00 ~ 13:10	開講挨拶
	13:10 ~ 14:20	精米の基礎知識
	14:30 ~ 15:40	玄米の基礎知識
	16:10 ~ 16:50	精米の検査・評価方法【実習】
	16:50 ~ 18:00	炊飯の基礎知識
7月9日 (火)	9:00 ~ 12:00	精米の検査・評価方法【実習】
	13:00 ~ 18:00	〃
7月10日 (水)	9:00 ~ 11:30	検査技術者認定試験（筆記・鑑定）
	11:30 ~ 12:00	閉講挨拶・総評・認定書授与

※) 研修終了後、引き続き、検査技術コース中級の第39回『米穀検査技術研修会』の受講が可能です。

【研修会の様子】



精米の染色実習



精米の染色実習



精米の分析実習



精米の分析実習

第39回『米穀検査技術研修会』

検査技術コース
(中級)

1. 日 程

2024年7月10日(水) 13:00より(受付は11:30より)
12日(金) 12:00まで(2泊3日)

2. 会 場

湘南国際村センター
〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-39
TEL: 046-855-1800

3. 対 象 者

精米についてはある程度の知識を習得し、玄米の見方や分析方法、加工性等の一連の検査手法を学習したい方を対象としています。

4. 内 容

玄米から精米および米飯に至るまでの一連の品質検査・評価に関する理論・方法等について、実習を主体に学習し、習得します。

※表2参照

5. 定 員

10名 1企業の出席者数の制限は行いませんが、参加希望者が定員を越える場合はご相談させていただきます。

6. 申込方法

別紙②によりFAXにてお申込み下さい。

7. 受 講 費

1名につき、140,800円(税込)
内訳: 研修費 107,800円
宿泊費等 33,000円(宿泊2泊、食事7回含む)
(1) 申込書の受理後、研修会受講費請求書を送付いたしますので、振り込みにより納入して下さい。
(2) 会場までの交通費は受講者のご負担となります。

8. 締 切

定員に達した場合、または、2024年6月28日(金)まで

9. そ の 他

最後の修了試験に合格した方には「修了証書」をお渡しします。

表2 第39回『米穀検査技術研修会』日程及び研修項目（予定）

月 日	時 間	研修項目
7月10日 (水)	13:00 ~ 13:10	開講挨拶
	13:10 ~ 18:00	米穀の検査・評価方法【講義・実習】
7月11日 (木)	9:00 ~ 12:00	米穀の検査・評価方法【実習】
	13:00 ~ 18:30	〃
7月12日 (金)	9:00 ~ 9:50	米穀の検査・評価方法【実習】
	10:00 ~ 11:30	検査主任技術者認定試験（筆記・鑑定）
	11:30 ~ 12:00	閉講挨拶・総評・認定書授与

【研修会の様子】



玄米の分析実習



とう精試験実習



玄米・精米の鑑定実習



炊飯・食味の実習

別紙①

年 月 日

第108回『精米検査研修会』（初級）申込書

一般社団法人日本精米工業会・技術部 宛て

会社名： ⑩
 (担当者：)
 (TEL： — —)

次の者を標記研修会に出席させます（1名につき1枚ずつ記入して下さい）。

フリガナ

① 氏 名 _____ (男・女)

② 生年月日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 歳)

③ 現在の業務 _____ ・ _____ 年 (役職名： _____)

④ 勤務先住所 〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

⑤ 個人連絡先 TEL： _____ (当日連絡が取れる携帯電話)

⑥ メールアドレス _____ @ _____

※記入漏れの無いようご注意ください。

別紙②

年 月 日

第 3 9 回『米穀検査技術研修会』（中級）申込書

一般社団法人日本精米工業会・技術部 宛て

会社名： ㊟
 （担当者： ）
 （TEL： — — ）

次の者を標記研修会に出席させます（1名につき1枚ずつ記入して下さい）。

- フリガナ
- ① 氏 名 _____（男・女）
- ② 生年月日 昭和・平成 _____年 _____月 _____日（ _____歳）
- ③ 現在の業務 _____・ _____年（役職名： _____）
- ④ 勤務先住所 〒 _____
 TEL： _____ FAX： _____
- ⑤ 個人連絡先 TEL： _____（当日連絡が取れる携帯電話）
- ⑥ メールアドレス _____@_____

※記入漏れの無いようご注意ください。